

医療 × 労働 職場

ブリッジ 第15回研究会



造血幹細胞移植による 就労への影響

これまでより30分早くなりました！

2021年 5月16日(日) 13:00~16:00

参加方法は
選べる

会場&Zoom 開催

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジでは、医療従事者と企業関係者が垣根を越え情報や問題を共有し、多様性に富む労働環境を構築することを目的に、毎回異なるテーマで専門の立場からのレクチャーと会場のディスカッションで構成する研究会を開催しています。

15回目は「造血幹細胞移植の影響」です。近年では水泳選手の白血病の罹患によって注目を集めました。歴史の長い「骨髄移植」を挙げれば、思い当たる人も多いでしょう。「造血幹細胞」とはいわば血液のタネ。病気になった自分の血液を空っぽになるまで破壊し、代わって他人からもらう血液のタネを根付かせるという、とても大変な処置をします。長きにわたり、体のあちこちに思わぬ影響が出ます。就労や生活にどんな影響が及ぶのでしょうか。今回の講師は、誰よりもたくさんの患者さんの暮らしに寄り添い、間近にあり方を見てきた、この国の骨髄提供の仕組みの礎をつくってきた支援者です。

さまざまな立場からの発信で場が活性化し、議論が深まり、具体性のある方策を共に見出していくコミュニティとして発展することを願っています。

今回のPoint

- 会場でも Zoomでも 同じプログラムで参加できます！
- 会場は密にならない程度の人数に制限します
- 学びを深める質疑応答・グループディスカッションなど、双方向参加型のプログラムをお届けします (Zoomはパソコンでの参加をお勧めします)

■ 対象 医療従事者、企業関係者、キャリアコンサルタント・社労士 など
仕事と治療の両立支援に携わっている方・これから携わろうとする方

■ 料金 ブリッジ会員:無料 非会員:2,000円
※ 申し込みと同時の入会 (5,000円/年会費)も可能です

■ 会場 ウィンクあいち 1208 会議室

■ 定員 24名

■ 申込 <https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/01wgn5847bi11.html>

※ 申込専用サイト「パスマーケット」からお申込みください (クレジットカード決済)
※ ブリッジHP (裏面参照) からリンクします

■ 主催 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ

■ 後援 愛知県、名古屋市、名古屋市医師会



の多様性の構築

第15回テーマ

「造血幹細胞移植による就労への影響」

① 造血幹細胞移植がその後の生活に及ぼす影響について



水谷 久美 みずたに くみ

認定特定非営利活動法人 あいち骨髄バンクを支援する会 理事・事務局長

【略歴】

父を白血病で亡くしたのをきっかけに、平成7年「骨髄バンクを支援する愛知の会」で事務局として活動を始める。平成9年、白血病などの治療のため遠方から治療にいらっしゃる患者、患者家族のための宿泊施設の提供、心のケアをする「愛知県長期滞在患者を支援する はなのきの会」を立ち上げ、事務局を任される。平成11年、メンタルケア協会認定「精神対話士」所得。平成13年（公財）日本骨髄バンク 地区普及広報委員としての活動も始める。平成24年「愛知の会」と「はなのきの会」の活動を統合し、血液疾患の患者を、トータルにケアする会「認定特定非営利活動法人 あいち骨髄バンクを支援する会」にて活動を続けている。

【メッセージ】造血幹細胞移植を終えた患者さんの日常や就労などQOLは十分とは言えないのが現状です。移植をすれば終わりではなく、移植によって失ってしまった身体と心のバランスをうまくとることが出来ず、日々悪戦苦闘している患者さんが多くいらっしゃいます。「元気になればよい」ではなく「元気になったのなら質の良い生活を送りたい」。患者さんに寄り添い、患者さんが暮らしやすい社会づくりを目指し皆様とともに考えていけたらと思います。

② グループディスカッション&全体共有

〰 団体紹介

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジは、がんをはじめとする有病者の就労支援を実施する団体です。国家資格キャリアコンサルタントを中心として、病気を経験した人がどのように職場との協調関係を築きながら働くかという、個人と組織のダイナミズムに着目した支援を実施します。患者向けの個人面談、ワークショップ、就活セミナー、また企業向けの労働衛生管理者セミナー、企業内がん教育、復職時の個別調整支援などを行っています。

URL <https://bridge-nagoya.jp/>

仕事 治療 ブリッジ



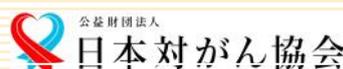
〰 ブリッジ研究会について

この研究会は、医療と労働の垣根を越えて、互いに知っているようで知らない現場での不安や困りごとを共有し、現実に即した方策を見出す目的で、3ヶ月に1回程度の開催を予定しています。がんやそれ以外の病気、社会的な制度や精神的なケアなど、各回1つのテーマについて深めていきます。

〰 入会のご案内

ブリッジは、社会の中で医療や労働の現実を踏まえた新しい価値や仕組みを創造することを目指しています。治療のその先に希望を持てる人生を具現化するために、みなさまの力を貸していただきたいと願っています。会員となって活動を支えるとともに、研究会活動を通じて病気になっても安心して暮らせる社会をともにつくっていきませんか？(研究会当日の入会も可能です)

- 一般会員:仕事と治療の両立支援に取り組む個人(研究会に参加できます)【年会費5,000円】
- 賛助会員:当団体の活動を応援していただける個人・法人【年会費1口3,000円×口数】



本事業は日本対がん協会の協力による休眠預金活用事業です